令和4年10月6日開催

総務常任委員会資料【所管事務調査】

地域交通プロジェクトについて	 $1 \sim 2$
地域交通プロジェクトの概要	 3
安塚区及び牧区における実証運行に係る運行内容	 $4\sim6$

所管	管委員	員会	総務常任委員会
提	出	課	交通政策課

地域交通プロジェクトについて

1 プロジェクトの概要 …P3「地域交通プロジェクトの概要」参照

(1)目指す姿

自家用車を持たない高齢者や学生にとって、公共交通による移動の利便性向上は切実な問題であることから、今の場所で安心して住み続けていくために、自家用車がなくても安心して生活できる、利用しやすい移動手段を実現する。

(2) 主な取組内容

- ・予約型コミュニティバスの実証運行 10 月から安塚区及び牧区において、予約型コミュニティバスの実証運行を行い、地域の実情にあった運行方法を検証する。
- ・オンデマンド交通システムの導入 利用者の電話やインターネットからの予約に応じて、経路設定から車両の配 車、運行指示等を自動的かつリアルタイムで効率的に行うオンデマンド交通シ ステムを導入する。
- ・他地域への展開 実証運行の利用状況や利用者の意見等を踏まえた検証結果を基に、地域の実 情に応じた見直しを図りながら、他地域へ展開する。

(3)推進体制

• 主担当課: 交通政策課

・関係 課:学校教育課、各区総合事務所

2 取組状況

(1) これまでの取組経過

予約型コミュニティバスの実証運行及びオンデマンド交通システムの導入について地域に説明し、運行内容を決定した。

…実証運行の詳細な運行内容は、P4「安塚区及び牧区における実証運行に係る運行内容」のとおり

時期	内容		
4月~6月	・安塚区、牧区において実証運行の運行内容について説明 【説明先】地域の公共交通懇話会、地域協議会、 町内会長連絡協議会、バス利用者		
7月	・安塚区、牧区の公共交通懇話会及び上越市地域公共交通活性化 協議会において実証運行の運行内容を決定		
8月~9月	・安塚区、牧区において、運行内容や予約方法について、周知チ ラシの全戸配布や地区別の懇談会等で周知		
10 月	・10月3日(月)に実証運行開始		

各区での主な意見

〇安塚区

- ・今の乗合タクシーは、不便であるが、10 月からは大変使いやすくなるので、ありがたい。
- ・今まで、乗合タクシーを利用したことはないが、今後利用したい。
- ・自宅の近くにバス停を設置してほしい。
- ・今後、高齢者の利用が増える可能性がある。利用したくても利用できない 人がないようにお願いしたい。

〇牧区

- ・平日のイベント時に利用したい。
- ・インターネット予約があれば利用しやすい。
- ・高齢者はインターネット予約に対応できない。電話予約も必要である。
- ・我々の懸案事項である運転免許返納後の交通手段の確保について、一歩進んだと感じる。
- ・非常にありがたい。私の子どもも高田方面の高校に通っていた時期があったが、朝はバス停まで送っていくのが日課だった。

(2) 今後の取組

・実証運行の検証

利用者数や利用時間帯等の運行データや、利用者へのアンケート結果を踏まえ、次年度以降の運行内容を見直す。

・他地域への展開

安塚区、牧区での実証運行の検証結果や、各地域の移動サービスの利用状況、 地勢などを踏まえ、地域の実情にあった運行内容に調整し、他地域へ展開する。 予約型コミュニティバスの他地域での実施について、第2次総合公共交通計画 の後期再編計画に位置付ける。

(3) スケジュール

主な取組	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 以降
実証運行(安塚区、 牧区)	実証	実証運行の	検証結果を踏	」 まえ、運行を 「	継続
他地域への展開		検証結果を 踏まえ、再 編案を検討	他地域へ展	開	
オンデマンド交通 システム	システ	ム稼働、イン	ターネット予	約開始	
第2次総合公共交通 計画の後期再編計画		計画策定	計画期間((R6~R9)	

地域交通プロジェクトの概要

- ・ 自家用車がなくても安心して生活できる、利用しやすい移動手段の実現
- ・支線バス路線を再構築し、予約型コミュニティバスを運行
- ・利便性の向上と効率的な運行を両立するため、オンデマンド交通システムを導入

現状 課題

- ・人口減少や車社会の進展等によりバス利用者が減少
- ・支線バスは、利用者の減少に伴い運行内容が縮小傾向 幹線バス路線 利用者:多 → 便数:多 支線バス路線 利用者:少 → 便数:少
- ・高校生の通学範囲の広域化や高齢化により公共交通の 重要性が高まっている

取組内容

○ 予約型コミュニティバスの運行

- 小型車両で利用者の予約に応じて地域内を移動
- ・地域内の移動を面的にカバーし、交通空白地を解消
- ・運行を効率化するため、オンデマンド交通システムを導入し、最適な運行ルートを決定
- ・運賃は200円程度

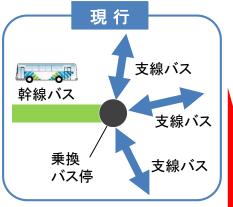
電話やインターネットから 1時間前までに予約



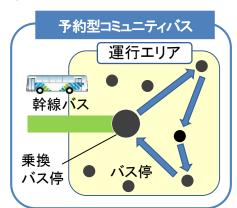


自家用車が無くても安心して生活できる 利用しやすい移動手段の実現

○ 予約型コミュニティバスのイメージ



項目	現行
路線	固定
時刻表	固定•便数少
運行時間	通学対応困難



予約型コミュニティバス

区内バス停間を自由に運行 時刻表なし(予約に応じて運行) 朝夕の時間延長→通学に対応

Oスケジュール

令和4年10月~

- 安塚区、牧区で実証運行
- │・地域の実情にあった運行方法を検証

令和5年度

- ・検証結果を第2次総合公共交通計画の後期 再編計画に反映
- 令和6年度~
- ・他地域へ展開
- ・利用状況を踏まえ改善

安塚区及び牧区における実証運行に係る運行内容

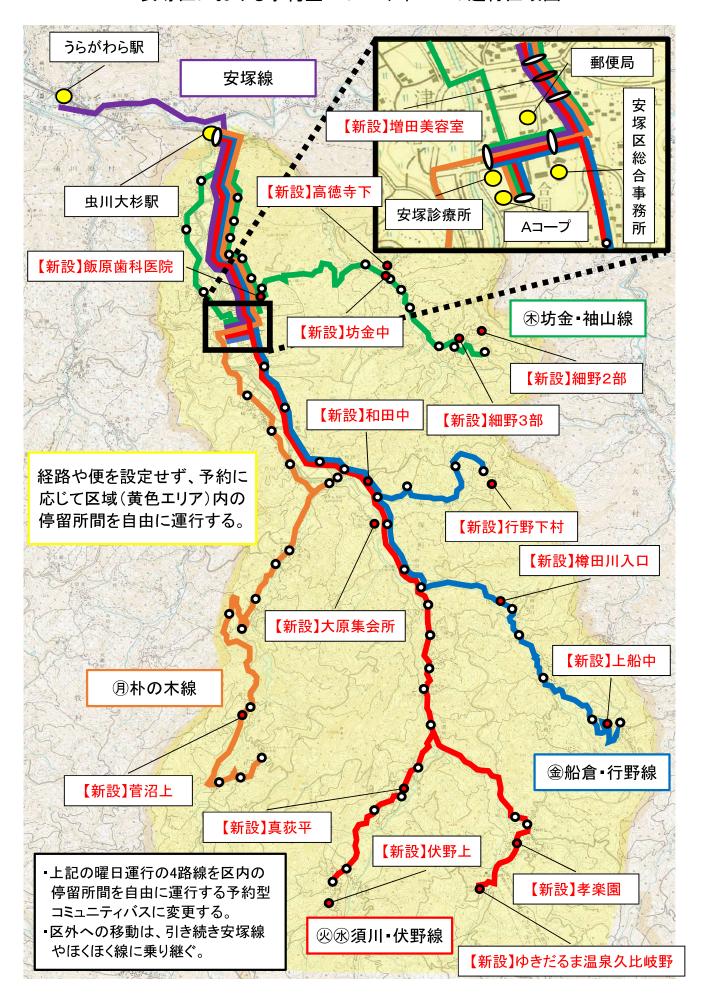
1 概要

- ・決められた時刻表や経路はなく、利用者からの予約に応じて、区内の停留所間を自由 に運行する。小中学生の通学利用がある時間帯は、定時定路線で運行する。
- ・ 高校生等の通学を考慮し、現行よりも朝と夕方の運行時間を延長し、午前 6 時 30 分から午後 7 時 30 分まで運行する。
- ・予約は乗車を希望する時間の1時間前までとし、電話での予約のほか、インターネットからも予約を受け付ける。

2 運行内容

_=	建订内台					
項目		安塚区	牧区			
運行	運行区域	安塚区全域及び虫川大杉駅 (P5のとおり)	牧区全域 (P6のとおり)			
	運行日	平日(祝日及び年末年始を除く)				
	運行時間	午前6時30分~午後7時30分	午前6時30分~午後7時30分 (小中学生の通学時間帯は 定時定路線で運行)			
	乗降場所	停留所				
	運賃	200円(小児100円、未就学児無料、障害者割引あり)				
	支払方法	現金、回数券、定期券				
	予約方法	電話・インターネット				
	受付日	電話は平日(祝日及び年末年始を除く) インターネットは毎日				
子 "	受付時間	午前7時~午後7時				
約	受付期間	乗車を希望する日時の10日前〜当日の1時間前				
	キャンセル	乗車時間の1時間前まで				
	上限数	1人当たり10件まで				
車	運行台数	最大2台	最大3台			
両	乗車定員	1台当たり最大9人	1台当たり最大14人			

安塚区における予約型コミュニティバスの運行区域図



牧区における予約型コミュニティバスの運行区域図

